

Combi

コンビ チャイルドシート セイブトレックシリーズ

取扱説明書

品質保証書付



お子さまの安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。
- 本書は本体背面の取扱説明書収納ポケットに保管してください。
- 最終ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R44/04 において認可された商品です。

● 汎用型 (ユニバーサル): 質量グループ1,2,3

● お子さまの体重: 9kg 以上 ~ 36kg 以下の幼児・学童用

● Group 1 (9kg 以上 ~ 18kg 以下)

ISOFIX 型チャイルドシートの取り付けを認可された座席のある自動車に取り付けることができます。

● 弊社の「取付確認 車種リスト」をご確認のうえ、ご使用ください。

● Group2・Group3 (15kg 以上 ~ 36kg 以下)

UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	5
取り付けできる座席	6
車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)	7
取り付けできない座席	8
安全にお使いいただくために	10

Group1 の使いかた

リクライニングのしかた	16
幼児肩ベルト位置・ヘッドレスト位置の調節のしかた	17
お子さまの座らせかた	19
お子さまの降ろしかた	21
取り付け準備	22
車への取り付けかた	24
取り付け完了チェックのしかた	28
車からの取りはずしかた	29

Group2・Group3 の使いかた

Group2・Group3 への変更のしかた	30
ヘッドレスト位置の調節のしかた	35
取り付け準備	36
車への取り付けかた	37
お子さまの座らせかた	43
取り付け完了チェックのしかた	45
Group1 への戻しかた	46

お手入れ・その他

カバーの取りはずしかた・取り付けかた	50
お手入れのしかた	51
保管・廃棄のしかた	52
品質保証書	53
問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

お使いいただく前に

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に、最終ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。

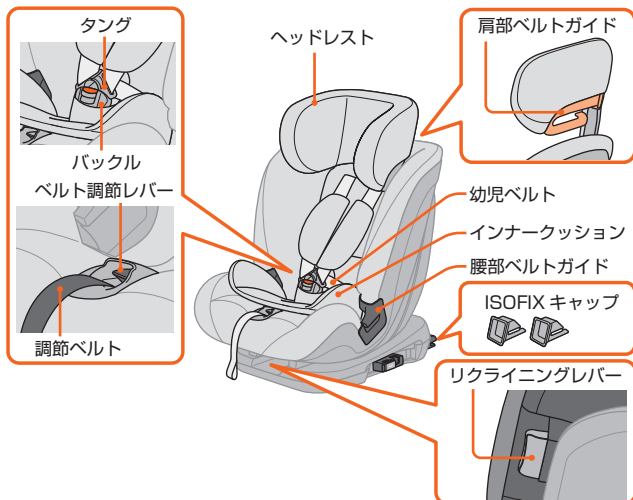
- ① 製品名とロットNo. (取扱説明書収納ポケット内側に貼ってあるシールに記載されています)
- ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
- ③ 販売店名

●レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

梱包内容

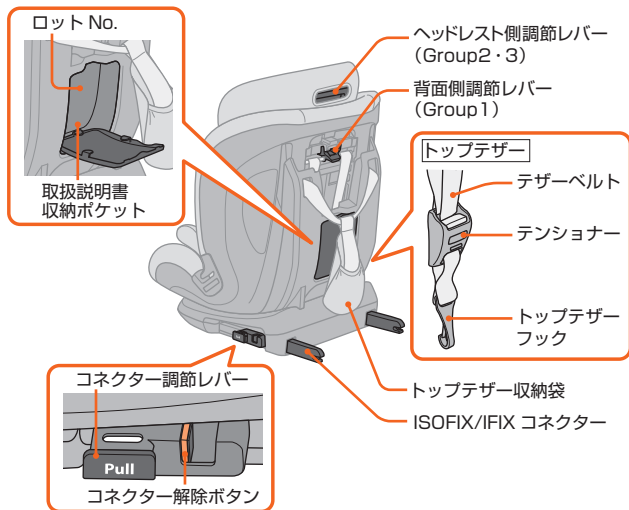
- 本体
- インナークッション
- ISOFIXキャップ
- 取扱説明書(本書)
- お客様登録カード

正面



※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

背面



ご使用の条件

お子さまの体重に合わせて以下のモードで使します。

お使いいただく前に

モード	Group 1	Group 2・Group 3
使用状態		
条件	9kg以上～18kg以下	15kg以上～36kg以下
目安	70～105cm 1才ころ～4才ころ	95～145cm 3才ころ～11才ころ
お子さまの拘束方法	チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトを取りはずして、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。
固定方法	ISOFIXコネクターとトップテザーでチャイルドシートを車の座席に固定します。	IFIXコネクターと車両シートベルトで車の座席に固定します。



危険

●「身長目安」や「年齢目安」は、あくまでも目安です。
身長や年齢が上記条件を満たしていても、「体重条件」を満たしていないお子さまは、そのモードではお使いになれません。

取り付けできる座席

Group 1 (体重: 9kg 以上 ~ 18kg 以下) で使用する場合

このチャイルドシートは ISOFIX チャイルドシートです。ISOFIX 取付金具 (バー) を装備した自動車で使用することを目的とし、UN R44/04 に基づき認可されております。

ISOFIX 型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付金具 (バー) を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記の ISOFIX サイズ等級に適合しているか確認してください。車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/



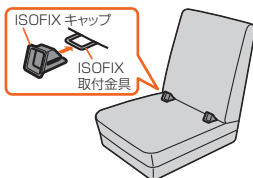
コンビ 適合

検索

お子さまの体重	質量グループ	カテゴリー	サイズ等級	固定具
9kg 以上 ~ 18kg 以下	1	汎用型 (ユニバーサル)	B	ISO/F2

ISOFIX 取付金具について

ISOFIX 取付金具とは、ISOFIX チャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具 (バー) です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

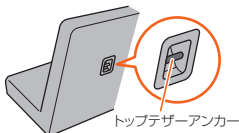


トップテザーアンカーについて

トップテザーアンカーとは、トップテザーフックを固定するために、車両に装備された金属 (バー) です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

※ トップテザーアンカーの位置の例

<車両シート背面>



<ラゲジスペース> <リアパーセルシェルフ>



<フロア>



<天井>



お使いいただく前に

車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)

Group2・Group3 (体重: 15kg以上～ 36kg以下) で使用する場合

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。

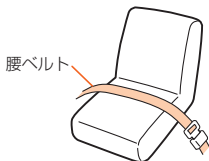


危険

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

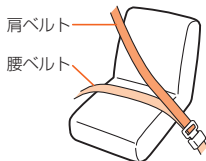
2点式シートベルトとは

図のように、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



3点式シートベルトとは

図のように、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



シートベルトの種類と特徴 (見分けかた)		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に出入りし、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

* シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席



お使いいただく前に

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

●エアバッグ装備の座席。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



●極端なバケットシート。

…座面の中央が深くへこんでいる座席。



●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



●車両ヘッドレストが極端に出っぱっている座席

…車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作やチャイルドシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。



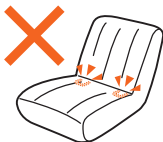
※ Group2・Group3での使用時のみ

●車両シートベルトの付いていない座席。



※ Group 1 での使用時のみ

●ISOFIX 取付金具(バー)が装備されていない座席。



取り付けできない座席

※ Group2・Group3での使用時のみ

● 2点式シートベルトの座席。



※ Group2・Group3での使用時のみ

● 車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



※ Group2・Group3での使用時のみ

● パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは

… 車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



※ Group2・Group3での使用時のみ

● 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

… チャイルドシートの腰部ベルトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です

お使いいただく前に

- 使用条件に**適合しないお子さま**や、**取り付けできない座席**などでは、使用しないでください。



- お子さまがチャイルドシートの上に**立ったり**、**中腰になったり**、**正座をしない**ように注意してください。

※ Group 1 で使用の場合、

お子さまを座らせたときには、お子さまに股あてパッド、幼児ベルトが正しく装着され、左右の差込タングが「カチッ」と音がするまでバックルに差し込まれ、**抜けないことを確認**してください。



- Group 1 で使用の場合、本製品は**車両シートベルト**で固定することはできません。

- エアバッグ装備**の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。

衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- Group 2・Group 3で使用の場合、

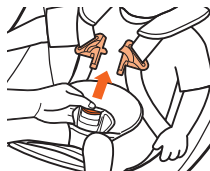
お子さまを座らせたときには、**車両シートベルト**が正しい位置で調節されていることを確認してください。



安全にお使いいただくために

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、（Group 2・Group3 で使用の場合は車両シートベルトをはずして）すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。

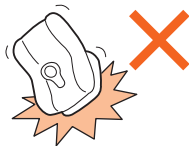


警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

お使いいただく前に

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- お子さまが座っていないときでも、コネクターおよびトップテザーフック (Group1 使用時) または車両シートベルト (Group2・Group3 使用時) で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなることがあります。



安全にお使いいただくために

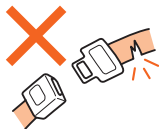
- Group1 で使用の場合、
幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- Group1 で使用の場合、
バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- Group 2・Group 3で使用の場合、
車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けられないでください。



- Group1 で使用の場合、
お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- Group1 で使用の場合、
幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- Group 2・Group 3で使用の場合、
チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

お使いいただく前に

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



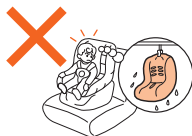
- 直射日光があたると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

安全にお使いいただくために

- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



- 車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。

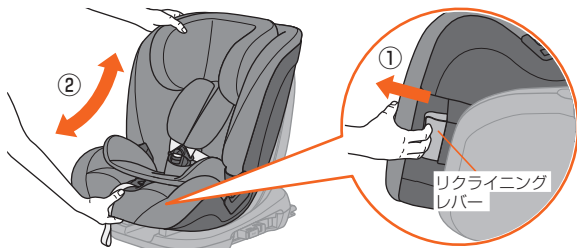


- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

リクライニングのしかた

【Group1】での使用時、お子さまの様子にあわせて、4段階に角度を調節することができます。

- 1** ① リクライニングレバーを手前に引きながら、
② シートのリクライニング角度を調節する。



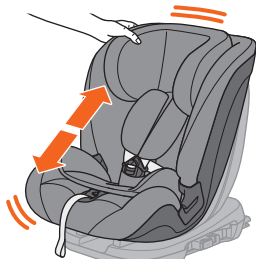
Group1 の使いかた



注意

- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2** リクライニングレバーから手をはなしてシートを前後にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告

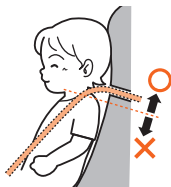
操作後、リクライニングレバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）

幼児肩ベルト位置・ヘッドレスト位置の調節のしかた

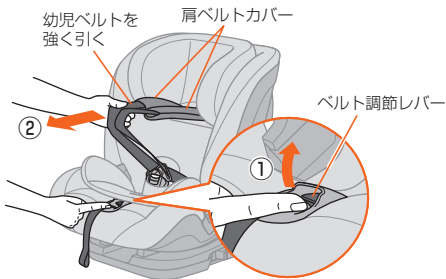
お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使用します。幼児肩ベルトの位置は、4段階に調節することができます。

幼児肩ベルト位置の目安

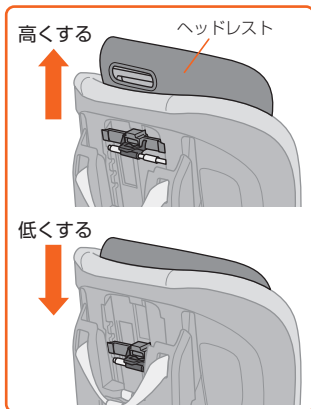
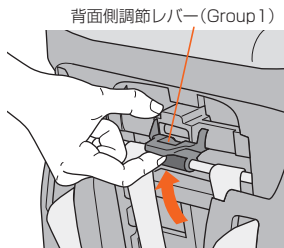
幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩よりやや高い位置で使用してください。



- 1** ① ベルト調節レバーを引き上げながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2 ① 背面側調節レバー (Group 1) を引き上げながら、高さを調節する。
② 適切な位置で背面側調節レバー (Group 1) から手をはなし、
③ ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認する。



警告

幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。



注意

幼児肩ベルト位置の調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

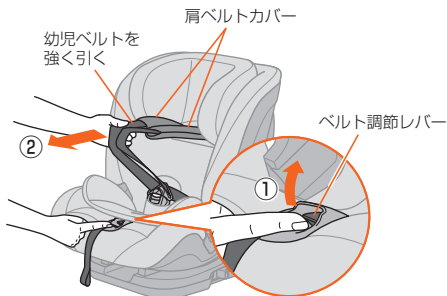
ワンポイント



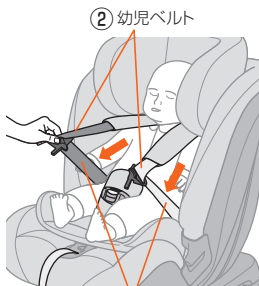
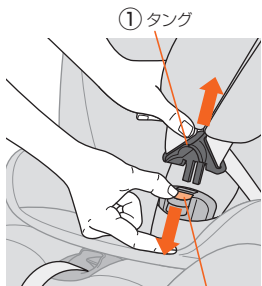
ヘッドレスト側調節レバーを使用するのは Group 2・Group 3 での使用時です。Group 1 の状態ではヘッドレスト側調節レバーは使用できません。

お子さまの座らせかた

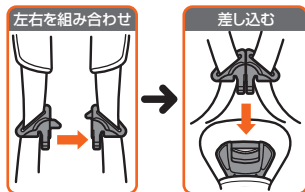
- 1** ① ベルト調節レバーを引き上げながら、
② 左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2** ① バックルボタンを押し、タングをはずす。
② お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。
③ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。



- 3 ① 左右のタングを組み合わせ、
「カチッ」と音がするまで、
バックルに差し込む。



危険

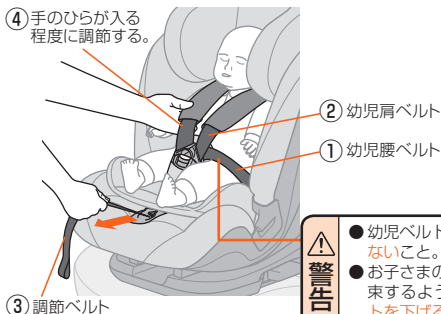
左右の差し込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

- 4 ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③ 調節ベルトを手前に引き、
④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



警告

- 幼児ベルトに**ねじれ**や**たるみ**がないこと。
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルト**を下げること。

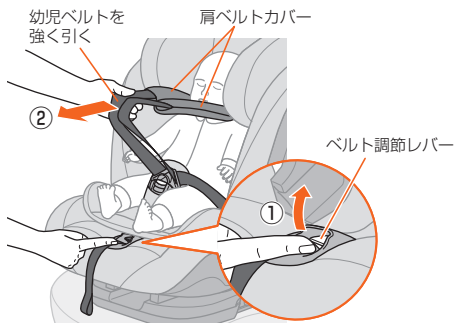


警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

お子さまの降ろしかた

- 1** ①ベルト調節レバーを引き上げながら、
②左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
③バックルボタンを押し、タングをはずす。
④お子さまを降ろす。





- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- Group 1 での使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。

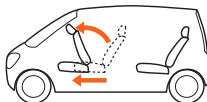
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



- 1** ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能で、平らな場所で行う。

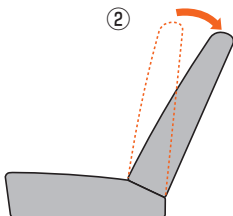
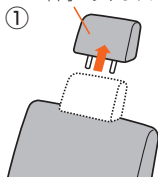


- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。



- 2** ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※ 取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

車両ヘッドレスト

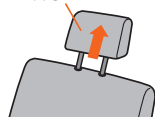


ワンポイント



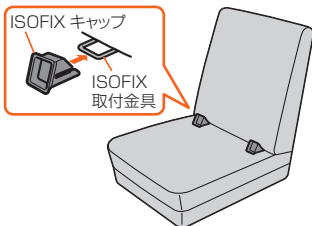
車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番上まで上げてください。

車両ヘッドレスト



取り付け準備

3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



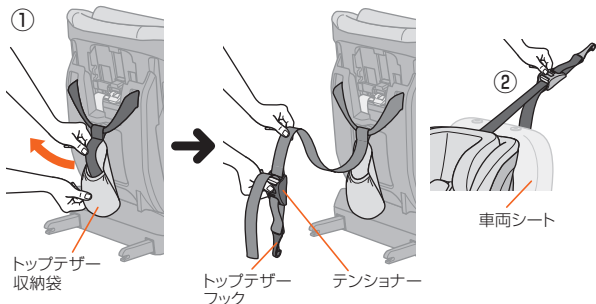
ワンポイント



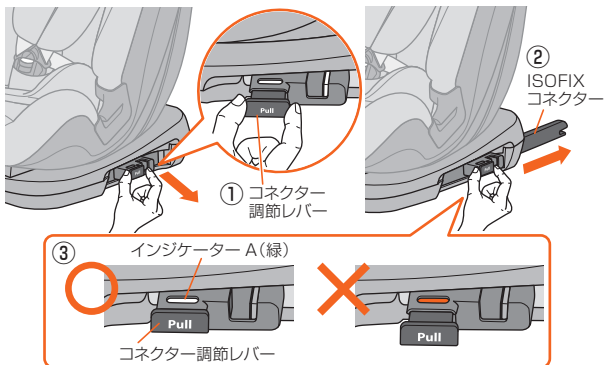
ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けると本体背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



- 1 ① トップテザーフックとテンショナーをトップテザー収納袋から出す。
② 本体を車両シートに置き、トップテザーフックとテンショナーを車両シート後方に出しておく。

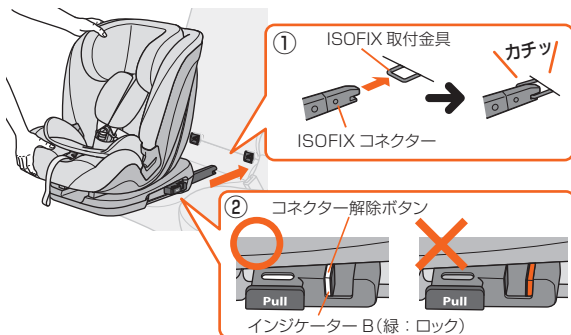


- 2 ① 側面のコネクター調節レバーを引きながら、
② ISOFIX コネクターを最大まで引き出す。
③ コネクター調節レバーから手をはなし、インジケーター A が「緑色」になっていることを確認する。
※ 左右それぞれ作業を行ってください。

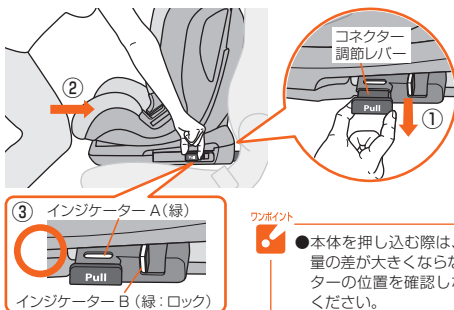


車への取り付けかた

- 3** ① 左右のISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、ISOFIX コネクターを差し込む。
 ② インジケーター B がロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



- 4** ① 左右のコネクター調節レバーを引きながら、
 ② 本体背面が車両背もたれに接するまで、膝などを使って強く押し込むか本体を片側ずつ押し込み、手をはなす。
 ③ インジケーター A と B が「緑色」になっていることを確認する。



ワンポイント

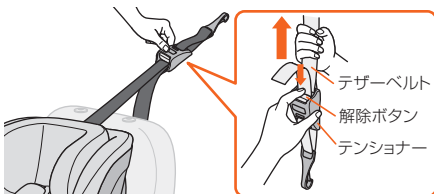


- 本体を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きくなりすぎないようにコネクターの位置を確認しながら、調整してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んでも本体背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

- 5** 車両背もたれがリクライニングできる場合は、本体背面とのすき間ができるだけ小さくなるよう、角度を調節する。



- 6** テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。



車への取り付けかた

- 7** トップテザーアンカーにトップテザーフックを固定する。
※イラストはトップテザーアンカーが車両シート背面にある場合



ワンポイント

- トップテザーアンカーの位置は車種によって異なります。トップテザーフック取付の詳細については車両の取扱説明書をよくお読みください。

※車両シート背面以外のトップテザーアンカー位置の例

<ラゲジスペース> <リアパーセルシェルフ>



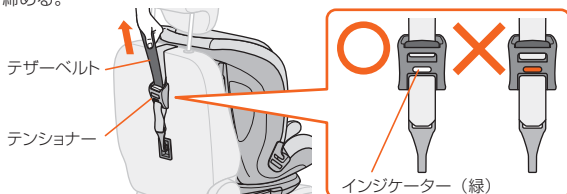
<フロア>



<天井>

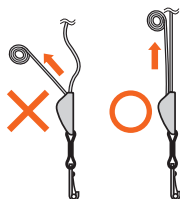


- 8** テンショナーのインジケーターが「緑色」になるまでテザーベルトを引き、強く締める。



ワンポイント

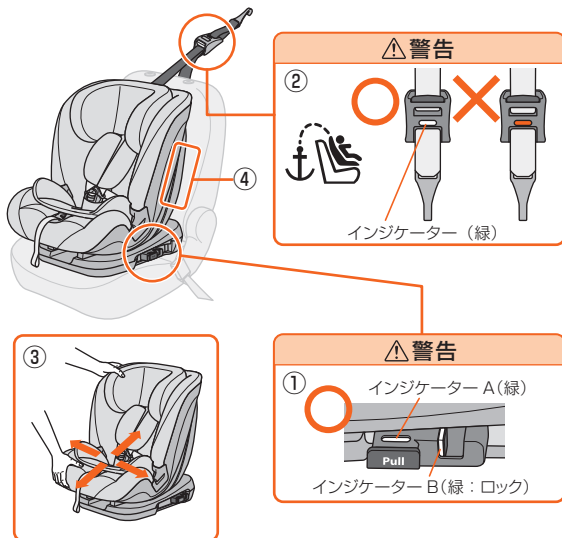
- テザーベルトを引く方向は、トップテザーアンカーの位置によって異なります。テザーベルトが平行になるように引いてください。
- 車両シート後方にまわれる場合は、テザーベルトのテンショナーに近い位置を持って強く引いてください。



取り付け完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ① ISOFIX コネクターのインジケーター A・B が「緑色」になっていること。
 - ② テンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること。
 - ③ 本体を持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
 - ④ 本体左右が車両シートと平行になっていること。(ISOFIX コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)
- ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

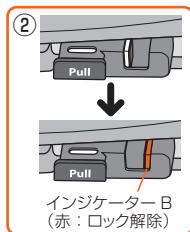
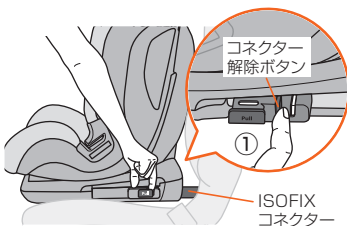


車からの取りはずしかた

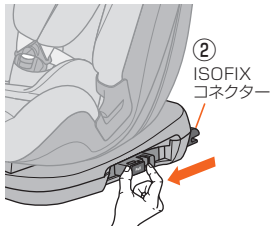
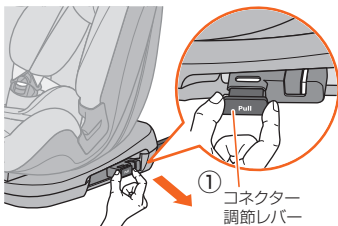
- 1** ① テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。
② トップテザーアンカーからトップテザーフックをはすず。



- 2** ① 左右のコネクター解除ボタンを押して、ISOFIX 取付金具から ISOFIX コネクターをはすず。
② インジケーター B がロック解除状態（「赤色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。



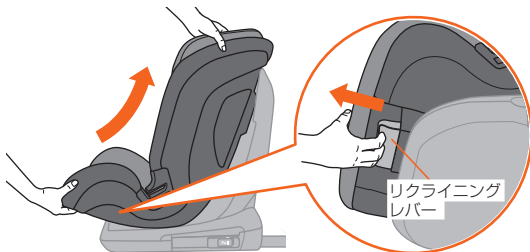
- 3** ① 側面のコネクター調節レバーを引きながら、
② ISOFIX コネクターを収納する。



Group2・Group3 への変更のしかた

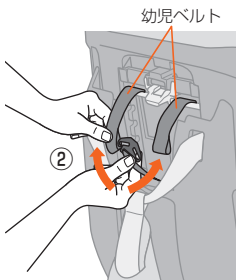
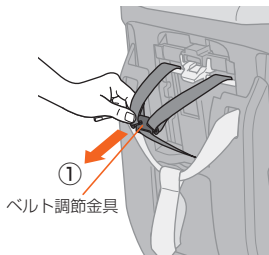
【Group1】で使用していた、幼児ベルトとバックルを取りはずします。

- 1** リクライニングレバーを操作して、チャイルドシートを最も立てた状態にする。（「Group1 の使いかた / リクライニングのしかた」参照）



- 2** ベルト調節レバーを引き上げながら幼児ベルトを引き、最長の長さまで引き出す。（「Group1 の使いかた / お子さまの座らせかた」参照）

- 3** ① 本体背面からベルト調節金具を引き出す。
② ベルト調節金具から左右の幼児ベルトをはずす。

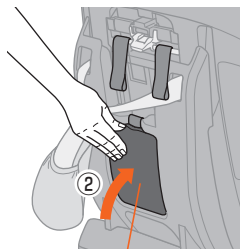


Group2・Group3 への変更のしかた

- 4** ① 取扱説明書収納ポケットを開き、ベルト調節金具を図のように配置する。
② ベルト調節金具を取扱説明書収納ポケットではさむように収納する。

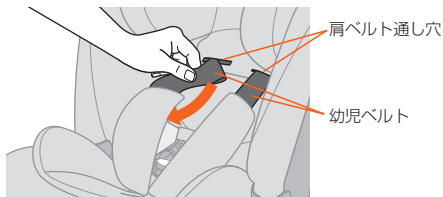


取扱説明書収納ポケット

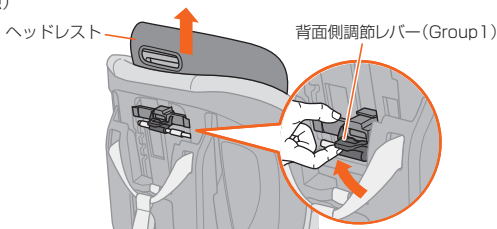


取扱説明書収納ポケット

- 5** 左右の幼児ベルトを本体正面の肩ベルト通し穴から引き抜く。
※ 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。幼児ベルトを引いてください。

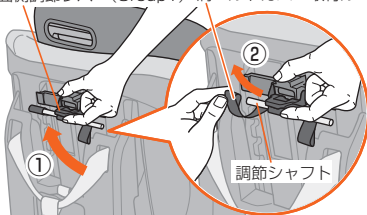


- 6** 背面側調節レバー (Group1) を操作して、ヘッドレストを最も高い位置まで引き上げる。
(「Group1 の使いかた / 幼児肩ベルト位置・ヘッドレスト位置の調節のしかた」参照)



- 7** ① 背面側調節レバー (Group 1) を引き上げながら、
 ② 調節シャフトから左右の肩ベルトカバー取付ループをはすす。
 ③ 左右の肩ベルトカバー取付ループを本体正面の肩ベルト通し穴から引き抜く。

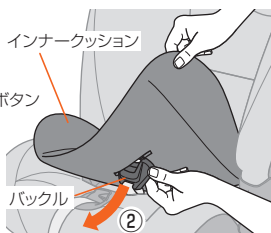
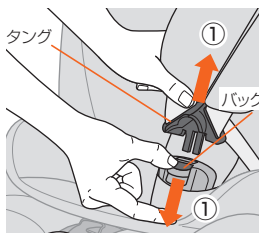
背面側調節レバー (Group 1) 肩ベルトカバー取付ループ



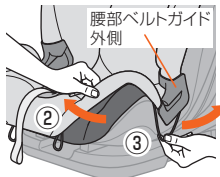
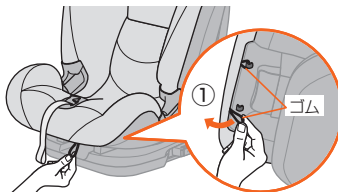
肩ベルト通し穴



- 8** ① バックルボタンを押し、タングをはすす。
 (「Group 1 の使いかた / お子さまの座らせかた」参照)
 ② バックルをインナークッションから引き抜く。

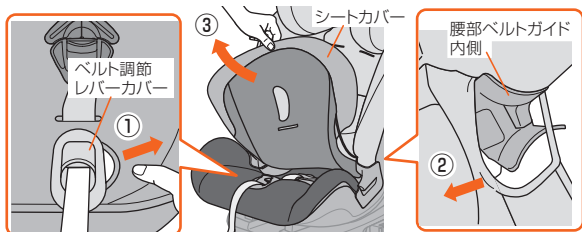


- 9** ① シートカバー座面下部のゴムを2ヵ所はすす。
 ② シートカバーを座面外周のすき間から引き出しながら、
 ③ 左右の腰部ベルトガイド外側からゴムをはすす。



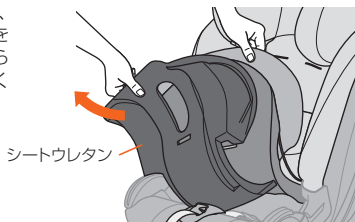
Group2・Group3 への変更のしかた

- 10** ① ベルト調節レバーカバーの外周からシートカバーを引き出す。
② 左右の腰部ベルトガイド内側からシートカバーを引き出す。
③ 股ベルトをシートカバーから引き抜き、座面からシートカバーをはすす。

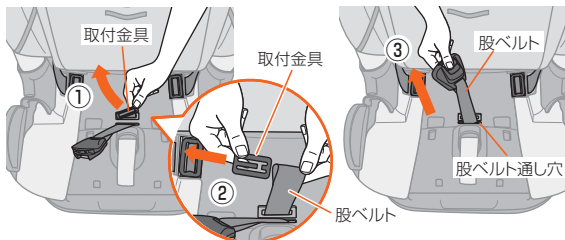


- 11** シートウレタンを座面からいったんはずす。

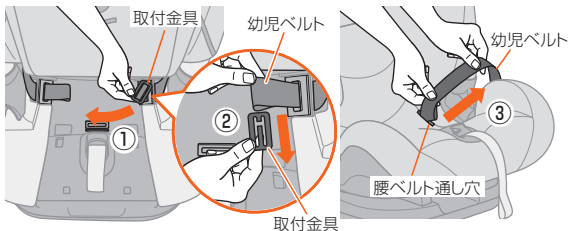
※ 取りはずしの際、シートウレタンをバックルなどで破らないようにご注意ください。



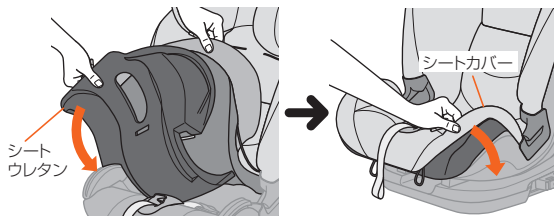
- 12** ① 股ベルトの取付金具を座面からはすし、
② 取付金具中央のスリットから股ベルトをはすす。
③ 股ベルト通し穴から股ベルトを引き抜く。



- 13** ① 幼児ベルトの取付金具を座面からはずし、
 ② 取付金具中央のスリットから幼児ベルトをはずす。
 ③ 腰ベルト通し穴から幼児ベルトを引き抜く。
 ※ 左右それぞれ作業を行ってください。



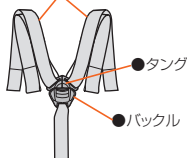
- 14** シートウレタンとシートカバーをはずしたのと逆の手順で取り付け、元に戻す。(手順9・10・11 参照)



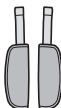
注意

取りはずした部品はGroup1に戻す場合、すべて必要になりますので大切に保管し、なくさないようにしてください。

● 幼児ベルト



● 肩ベルトカバー ● 取付金具(×3)



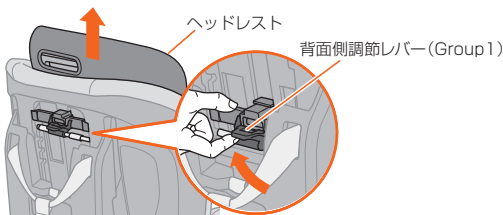
● インナークッション



※ タングはバックルに差し込んだ状態で保管してください。

ヘッドレスト位置の調節のしかた

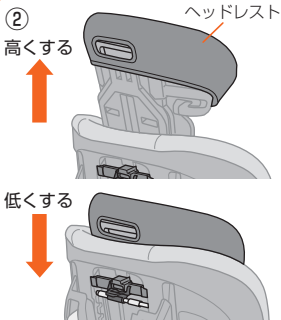
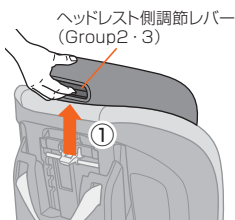
- 1** 背面側調節レバー (Group 1) を最も高い位置まで引き上げる。(「Group 1 の使いかた / 幼児肩ベルト位置・ヘッドレスト位置の調節のしかた」参照)



注意

Group 2・3 で使用する場合は、背面側調節レバー (Group 1) を最上段にしてご使用ください。最上段にせずヘッドレスト側調節レバー (Group 2・3) を操作すると、指をはさむおそれがあります。

- 2** ① ヘッドレスト側調節レバー (Group 2・3) を引きながら、高さを調節する。
② 適切な位置でヘッドレスト側調節レバー (Group 2・3) から手をはなし、
③ ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認する。
※ 適切な位置については「お子さまの座らせかた」を参照ください。



注意

ヘッドレスト位置の調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、ケガをするおそれがあります。

取り付け準備



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。

- 1 Group1 と同様の手順で取り付け準備をする。
（「Group1 の使いかた / 取り付け準備」参照）

車への取り付けかた



Group2・Group3で使用の場合、トップテザーを使用しないでください。本来の機能を果たさず危険です。

【Group2・Group3】では、＜IFIX コネクターと車両シートベルトで取り付ける＞場合と、＜車両シートベルトのみで取り付ける＞場合の2通りで取り付けができます。

IFIX コネクターと車両シートベルトで取り付ける場合

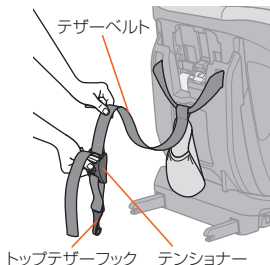
- 1 リクライニングレバーを操作して、チャイルドシートを最も立てた状態にする。（「Group1の使いかた／リクライニングのしかた」参照）



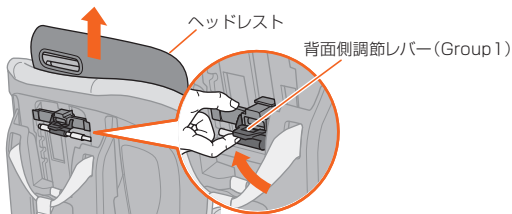
Group2・Group3で使用の場合、リクライニングを最も立てた状態でご使用ください。本来の機能を果たさず危険です。



- 2 テザーベルトを折りたたみ、テンショナー、トップテザーフック、テザーベルトをすべてトップテザー収納袋に収納する。



- 3** 背面側調節レバー (Group 1) を最も高い位置まで引き上げる。
 (「Group 1 の使いかた / 幼児肩ベルト位置・ヘッドレスト位置の調節のしかた」参照)



Group2・Group3で使用する場合、背面側調節レバー (Group 1) を最上段にしてご使用ください。

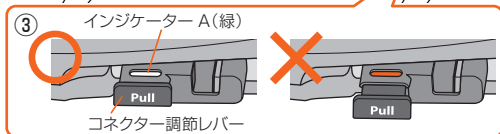
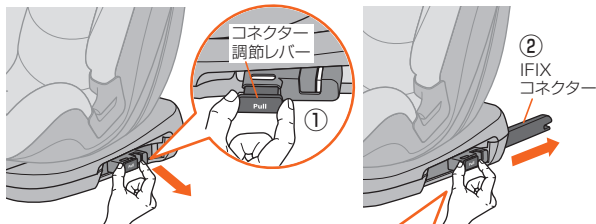
- 4** トップテザー収納袋が車両シートと本体背面の間からはみ出ないように、本体を車両シートに置く。



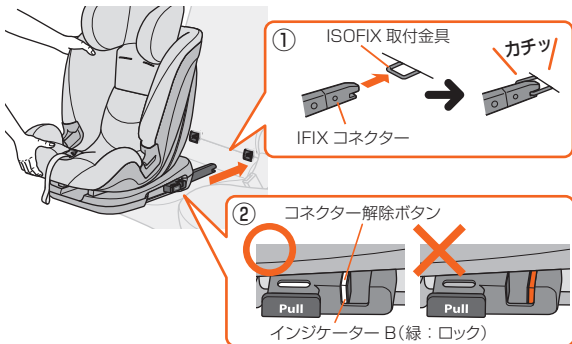
トップテザーフックとテンショナーを入れたトップテザー収納袋は本体背面と車両シートの間にはさんだ状態にし、動かないようにして取り付けてください。

車への取り付けかた

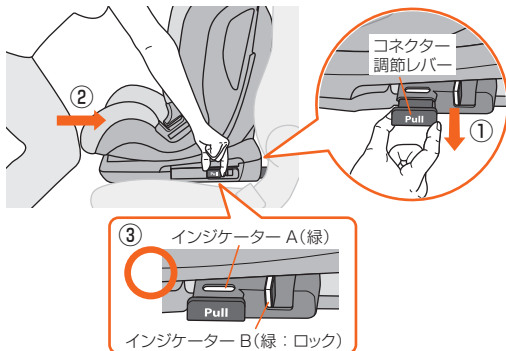
- 5** ① 側面のコネクター調節レバーを引きながら、
② IFIX コネクターを最大まで引き出す。
③ コネクター調節レバーから手をはなし、インジケーター Aが「緑色」になっていることを確認する。
※ 左右それぞれ作業を行ってください。



- 6** ① 左右のISOFIX 取付金具に「カチッ」と音がするまで、IFIX コネクターを差し込む。
② インジケーター Bがロック状態(「緑色」の表示が見える状態)になっていることを確認する。



- 7**
- ① 左右のコネクター調節レバーを引きながら、
 - ② 本体背面が車両背もたれに接するまで、膝などを使って強く押し込むか、本体を片側ずつ押し込み、手をはなす。
 - ③ インジケーター A と B が「緑色」になっていることを確認する。

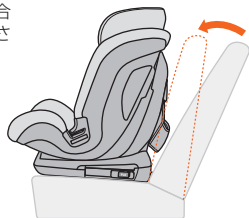


ワンポイント



- 本体を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きくなるようにコネクターの位置を確認しながら、調整してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んででも本体背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

- 8** 車両背もたれがリクライニングできる場合は、本体背面とのすき間ができるだけ小さくなるよう、角度を調節する。

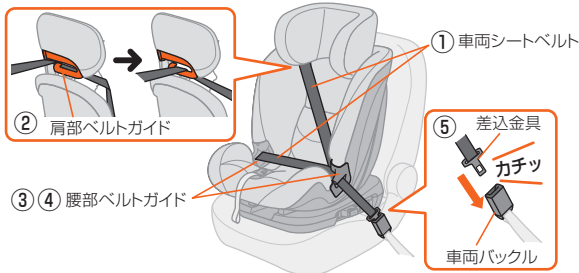


車への取り付けかた

- 9
- ① 車両シートベルトを引き出し、
 - ② 車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
 - ③ 車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
 - ④ 車両バックル側の車両シートベルトを腰部ベルトガイドに通す。
 - ⑤ 『カチッ』と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



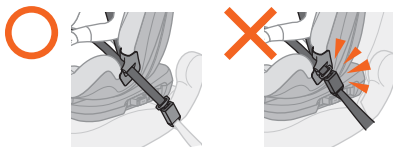
急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。



IFIXコネクターを使用することで、車両シートベルトや車両バックルの取り付けの妨げになる場合は、IFIXコネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



車両バックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができる、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマープラザへお問い合わせください。



車両シートベルトのみで取り付ける場合

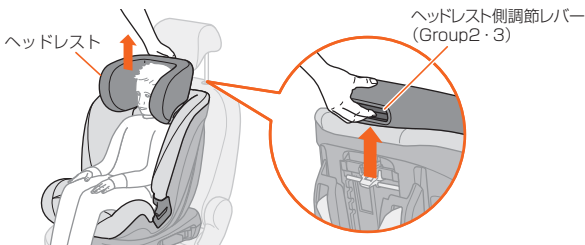
「IFIX コネクターと車両シートベルトで取り付ける場合」の手順のうち、5～7の手順を省略して取り付けてください。

※ IFIX コネクターの収納のしかたは Group 1 の「車からの取りはずしかた」の手順を参照ください。

※ ISOFIX キャップが取り付けの妨げになる場合は、ISOFIX キャップを ISOFIX 取付金具からはずしてください。

お子さまの座らせかた

- 1 差込金具を車両バックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、お子さまにあわせ、ヘッドレストの高さを調節する。
(「Group2・Group3の使いかた/ヘッドレスト位置の調節のしかた」参照)



ヘッドレスト(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



下がりすぎている

適切な高さ
(目安2cm程度)

上がりすぎている

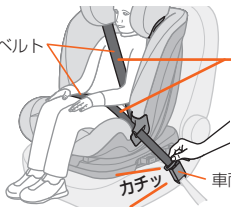


警告

- 肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったときには、ヘッドレストの高さを調節し直してください。
- Group2・Group3で使用の場合、背面側調節レバー(Group1)を最上段にして使用します。背面側調節レバー(Group1)を最上段にした状態で、肩部ベルトガイドがお子さまの肩よりも高くなりすぎる場合はGroup2・Group3では使用しないでください。

2 車両シートベルトを引き出して『カチッ』と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。

車両
シートベルト



カチッ

車両バックル



- 車両シートベルトに**ねじれやたるみがないこと。**
- 車両シートベルト（腰部）は必ず**お子さまの骨盤を押さえるようにすること。**

3 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト（肩部）を上へ引いて張り具合を調節する。



- 本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車の座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。

- お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

- ・のけぞる、前かがみになる。



- ・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



- ・中腰・正座・立てひざなどをする。



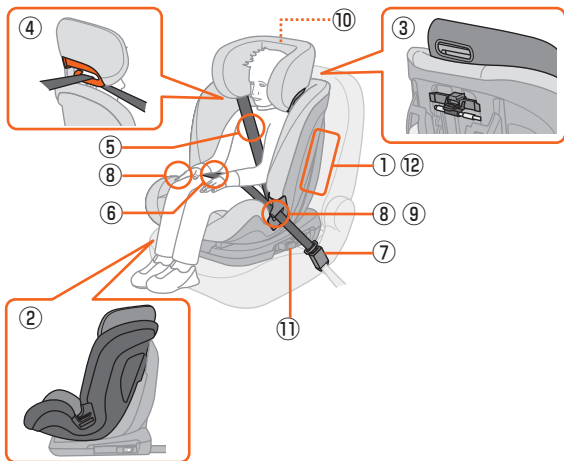
- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



取り付け完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

- ① 車両シートと本体の間に大きなすき間がないこと。
 - ② リクライニングが最も立った状態になっていること。
 - ③ 背面側調節レバー (Group 1) の位置が最上段になっていること。
 - ④ 車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
 - ⑤ 車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ねじれやたるみがないこと。
 - ⑥ 車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
 - ⑦ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
 - ⑧ 車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
 - ⑨ 車両バックル側の車両シートベルトが腰部ベルトガイドを通っていること。
 - ⑩ トップテザーフックを使用しておらず、車両シートと本体の間からはみ出していないこと。
 - ⑪ IFIX コネクターのインジケーター A・B が「緑色」になっていること。
- ※ IFIX コネクターを使用する場合のみ
- ⑫ 本体左右が車両シートと平行になっていること。(IFIX コネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)
- ※ IFIX コネクターを使用する場合のみ



※「Group2・Group3への変更のしかた」で取りはずした部品を準備してください。

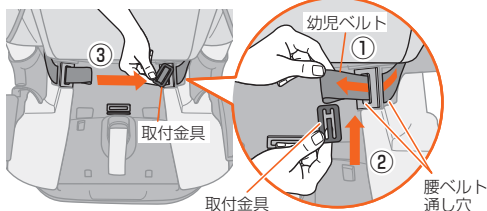
1 座面からシートカバーとシートウレタンをいったんはずす。
(「Group2・Group3への変更のしかた」参照)

2 ① タングが正しい向きになるように注意しながら、幼児ベルトを座面の腰ベルト通し穴に図のように通す。

② 幼児ベルトに取付金具を取り付ける。

③ 取付金具を座面のくぼみにはめる。

※ 左右それぞれ作業を行ってください。



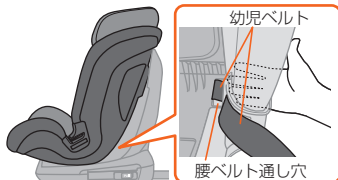
警告

- 取付金具が幼児ベルトに正しく取り付けられていることを確認してください。
- 取付金具は抜けないよう、幼児ベルトを引いて確かめるなどして、座面のくぼみにしっかりとめしてください。

ワンポイント



幼児ベルトが通しにくい場合は、本体側面のすき間から手を差し入れ、腰ベルト通し穴の裏側から幼児ベルトを押さえながら通すと、通しやすくなります。

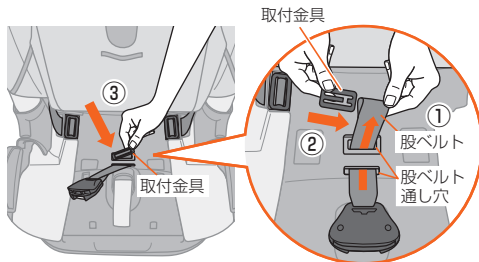


注意

ただし、すき間に手を差し入れた状態でリクライニング操作をしないでください。指をはさみ、ケガをするおそれがあります。

Group1 への戻しかた

- 3** ① バックルが正しい向きになるように注意しながら、股ベルトを座面の股ベルト通し穴に図のように通す。
② 股ベルトに取付金具を取り付ける。
③ 取付金具を座面のくぼみにはめる。

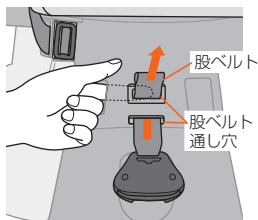


- 取付金具が股ベルトに正しく取り付けられていることを確認してください。
- 取付金具は抜けないよう、股ベルトを引いて確かめるなどして、座面のくぼみにしっかりとめしてください。

ワンポイント



股ベルトが通しにくい場合は、股ベルト通し穴横の穴から手を差し入れ、裏側から股ベルトを押さえながら通すと、通しやすくなります。
※リクライニングを立てた状態で行ってください。

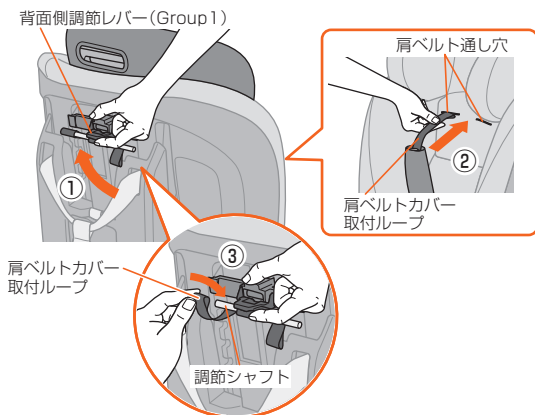


ただし、座面の穴に手を差し入れた状態でリクライニング操作をしないでください。指をはさみ、ケガをするおそれがあります。

- 4** ① シートウレタンに股ベルトを通し、座面に取り付ける。
 ② シートカバーに股ベルトと幼児ベルトを通し、座面に取り付ける。
 (「Group2・Group3 への変更のしかた」参照)

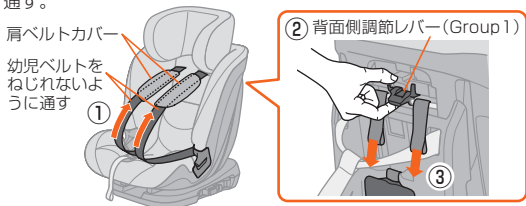
- 5** ① ヘッドレスト側調節レバー (Group2・3) を最も低い位置に引き下げる。
 (「Group2・Group3 の使いかた / ヘッドレスト位置の調節のしかた」参照)
 ② リクライニングを最も立てた状態にしておく。
 (「Group1 の使いかた / リクライニングのしかた」参照)

- 6** ① 背面側調節レバー (Group1) を最も高く上げ、引き上げながら、
 ② 左右の肩ベルトカバー取付ループを本体正面から肩ベルト通し穴に通し、
 ③ 調節シャフトに左右の肩ベルトカバー取付ループを取りつける。

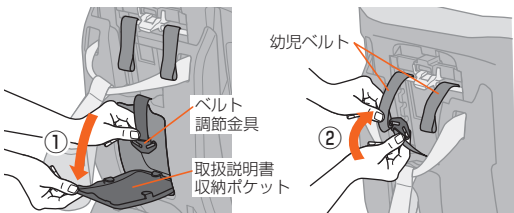


Group1 への戻しかた

- 7** ① 肩ベルトカバーに左右の幼児ベルトを通す。
 ② 背面側調節レバー (Group 1) を引き上げながら、
 ③ 左右の幼児ベルトをねじれないように注意しながら肩ベルト通し穴に通す。



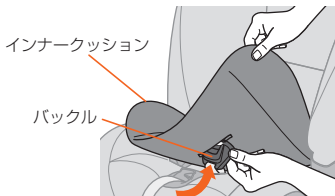
- 8** ① 取扱説明書収納ポケットを開き、ベルト調節金具を取り出す。
 ② 幼児ベルトがねじれないように注意しながら、ベルト調節金具に左右の幼児ベルトを取り付ける。



幼児ベルトが正しく取り
 付けられていることを確
 認してください。



- 9** インナークッションにバックルを通し、取り付ける。



カバーの取りはずしかた・取り付けかた

ヘッドカバーの取りはずしと取り付け

- ① 幼児ベルトと肩ベルトカバーを肩ベルト通し穴からはずしておく。
（「Group 2・Group 3への変更のしかた」参照）
- ② ヘッドレストを引き上げる。
（「Group 2・Group 3の使いかた／ヘッドレスト位置の調節のしかた」参照）
- ③ ヘッドカバーを取りはずす。

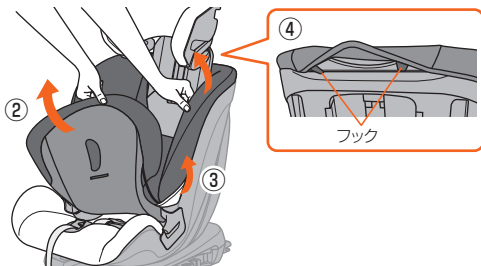


※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

シートカバーの取りはずしと取り付け

※シートカバーは下側から順にはずします。

- ① 幼児ベルトをベルト調節金具からはずし、肩ベルト通し穴からはずしておく。
（「Group 2・Group 3への変更のしかた／Group 1 への戻しかた」参照）
- ② シートカバーを座面からはずす。
（「Group 2・Group 3への変更のしかた／Group 1 への戻しかた」参照）
- ③ シートカバー上側を本体左右のすき間から引き出す。
- ④ シートカバー後側のフック（2カ所）を取りはずし、シートカバーをはずす。



※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- シートカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯にて手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- アイロン掛けはしないでください。
- ドライクリーニングはしないでください。
- 手洗いは、弱くしぼってください。強くしぼると、シワに残ることがあります。
- 弱くしぼった後、形を整えて陰干ししてください。
- 洗濯後は、脱水機、乾燥機は使用しないでください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、本体背面の取扱説明書収納ポケットに保管してください。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後10年」です。

標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

	製品名	ロットNo.	保証期間
	(取扱説明書収納ポケット内側のシールをご覧ください)		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お 客 様	お名前		お買い上げ日
			年 月 日
販 売 店	ご住所 〒		TEL
販 売 店	店 名		TEL
	住 所		
修理メモ			

保証規定

1. 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
2. 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
3. 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちに記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 領収書（レシート）を本書と一緒に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

Combi

コンビ
セイブトレック
シリーズ

コンビ株式会社

■ ホームページ

■ オンラインショップ(部品購入窓口)

www.combi.co.jp

shop.combi.co.jp

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間: 9:30~17:00 (日祝日、年末年始を除く) 〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

■総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ/修理のご依頼/各種ご相談/その他

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■部品相談受付窓口 部品に関するお問い合わせ

TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間: 10:00~17:00 (土日祝日、年末年始を除く) 〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ www.combi.co.jp/soudan